

1 仙台城大手門北側土塀の現状

- 1) 歴史的価値
 - ・仙台城跡に現存する唯一の建築物。
- 2) 現在の管理者
 - ・仙台市青葉区公園課
- 3) 過去の修復歴
 - ①宮城県沖地震（昭和 53 年：1978）
 - ・漆喰などが崩落し、モルタルで修復
 - ②東日本大震災（平成 23 年：2011）
 - ・東西辺の西側が崩落。モルタルが剥落。
 - ・崩落部は基礎部から解体、修復。
 - ・躯体に使用されていた土壁、瓦は回収して再使用。
 - ・表面のモルタルは、漆喰に戻す。
 - ・屋根裏材は雑木やベニヤ材からヒノキ材に替えて長寿命化を図り、伝統工法で復旧。
 - ・屋根瓦は崩落前のものを使用し、不足分を補充。

(※文化財課が文化財の災害復旧として実施)

2 仙台城跡の土塀の修復・復旧の基本原則

- 1) 形状・形態
 - ・平成 24 年度の復旧時の竣工図の形状を修復や復旧の形状の基本とする。
 - ・新資料が発見された場合は、修復の機会に形状の更新を検討する。
 - 2) 技術・工法
 - ・伝統的な工法によることを原則とする。
 - 3) 材料
 - ・現構築材で再使用可能なものは利用する。
 - ・伝統的な材料を使用する。
 - 4) 設計・監理と指導・助言
 - ・基礎、躯体、屋根までの復旧、修繕を実施する場合は、設計・監理を専門業者に委託し、関係委員会等に助言・指導を求める。
- 【留意事項】**
- ・躯体を修復、復旧する場合は、乾燥までの日数を十分に取れるように計画する。

3 東日本大震災の復旧経過



写真1 土塀被災状況 (南西から) : 201110407
(外側がモルタル塗りと判明)

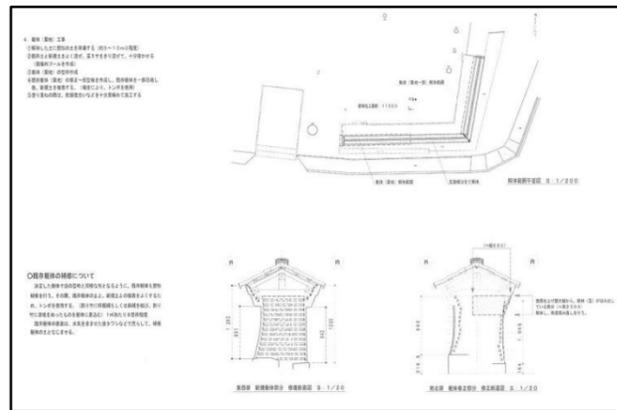


写真2 復旧工事の測量・設計図作製
(設計・監理の業務委託として実施)



写真3 崩落・変形部解体後の状況 : 20120911
(土台の石列が傾斜していることが判明)



写真4 専門家に監理者を交えての指導 : 20120927
(土台石を一度外し、据え直すことを相談)



写真5 土塀躯体の積直し状況 : 20121205
(土壁が乾燥せず工期を4ヶ月延長)



写真6 伝統的屋根組みと下塗りの紐 : 201304051



写真7 屋根・軒周りの下地用紐巻 : 20130513
(伝統的工法での復旧)



写真8 下塗り・中塗り風景 : 20130610



写真8 漆喰塗仕上 工事完了 : 20130729
(201705 躯体積直し部分の漆喰剥離)